

Q1 えひめ食・観光・農林漁業プラットフォームを立ち上げる目的は？

A1 愛媛県の強みを発揮しやすい「食・観光・農林漁業」をテーマにして、多様な関係者（生産業者・加工業者・販売事業者・交通事業者・宿泊業者など）の皆さんが集い、官民共創で愛媛オリジナルのビジネスや地域活動、それらを支える政策を生み出すため、「えひめ食・観光・農林漁業プラットフォーム」を立ち上げました。

Q2 えひめ版政策エコシステムとプラットフォームの関係は？

A2 県、市町、民間企業、市民団体、学術機関などの多様な主体が、愛媛の地域課題を的確に捉え、未来の成長に結びつく政策を、企画段階から官民共創で創り上げる仕組みを「えひめ版政策エコシステム」として、その構築にチャレンジしていく考えです。

今回の「えひめ食・観光・農林漁業プラットフォーム」の立ち上げは、これから様々な分野で、えひめ版政策エコシステムを構築していくための「はじめの一步」という位置づけになります。

Q3 えひめ食・観光・農林漁業プラットフォームに参加するには、どうすれば？

A3 えひめ食・観光・農林漁業プラットフォーム規約をご一読いただき、趣旨や活動内容、ルール等にご賛同いただけます場合は、愛媛県ホームページ内の加入表明フォーム（こちらの2次元バーコードをご利用ください。）からエントリーいただきますよう、お願いいたします。



Q4 えひめ食・観光・農林漁業プラットフォームへの参加資格は？

A4 えひめ食・観光・農林漁業プラットフォームへの参加は、規約にご賛同いただける企業、団体又は個人であれば、広く参加可能です。愛媛県の課題解決、未来の成長に結びつく政策の検討に主体的に関わることを希望されるのであれば、県外の企業等の参加も歓迎します。

Q5 えひめ食・観光・農林漁業プラットフォームでは、何ができるの？

A5 プラットフォームにご参加いただくと、①食・観光・農林漁業に関連する新たなビジネスをテーマとする勉強会、研修への参加、②参加者の間での情報共有やマッチングの企画への参画、③新たな政策やビジネス等の創出に関する意見交換への参画、④プラットフォームに関する情報発信等に取り組んでいただくことが可能です。

県として、参加者の皆さんが集まっていただきやすい魅力的な企画づくりに努めますので、参加者の皆さんも、積極的な議論、意欲的な交流に、主体性をもって取り組んでいただけると幸いです。

Q6 アクションラボとは？

A6 アクションラボは、プラットフォームの活動状況やプラットフォーム参加者の希望等を

踏まえて決定する検討テーマに関して、新しいビジネスや地域活動、それらを支える政策を創り出すための具体的な検討作業を行うチームとして設置します。

プラットフォームが「広く議論する共創の場」として運営されるのに対して、アクションラボは、プラットフォーム参加者のうち検討テーマに主体的に関わる意思のある希望者からなる「具体的な議論を深める場」として運営します。

Q7 アクションラボに参加するには、どうすれば？

A7 アクションラボを立ち上げる際には、県は、検討テーマに応じて、秘密保持や知的財産の保護など、安心して議論を深めることができる場の運営ルールを定めて、プラットフォーム参加者に明示し、参画を募集する予定です。（一定数以上の参加者が主体的に活動テーマを提案できる仕組みもご用意します。）

今後、プラットフォーム参加者のニーズ等を踏まえて、随時、アクションラボのテーマを決定し、参加者の募集を行っていく予定です。ご興味、ご関心のあるテーマについて、アクションラボの募集が行われた際には、運営ルール等をご確認のうえ、ご参加をご検討ください。アクションラボを新たに立ち上げる際には、改めて、広くお知らせいたします。

Q8 アクションラボでは、具体的にどのような活動ができるの？

A8 アクションラボでは、愛媛オリジナルの新しいビジネスや地域活動、それらを支える政策について、具体的な検討作業を行います。参加者を募集する際には、参加する皆さんの責任、想定される作業日程、秘密保持など遵守すべきルール等について、検討テーマに応じて具体的に提示しますので、その内容をよくご確認のうえ、参加をご判断ください。

Q9 アクションラボで、競合他社が参加する場合、具体的な検討が難しくならないか？

A9 検討テーマに応じて参加者が安心して議論を深めることが出来るルール設定や、場の運営に努めることとしています。ただし、アクションラボのテーマ特性によっては、具体的な価格交渉や知的財産権の設定などを効果的に進めるために、構成員を絞り、より厳格なルールを設定した別の場を設ける可能性があります。民間企業の皆さんのみで構成する、いわゆるスピンアウト企画の実施も含め、設置については、柔軟に協議し、決定する予定です。

Q10 今後立ち上げていくアクションラボのテーマは、今回のマンダラチャートのテーマに決まっているのか？

A10 今回のマンダラチャートのテーマは、事前アンケートの結果などを踏まえて、参加者の皆さんの間で話題を広げていただくことを目的に設定したものです。今後のアクションラボのテーマの候補は、これらに限るものではありません。

Q11 プラットフォームの活動は、年度単位で終了するのか？

A11 プラットフォームは、皆さんとの意見交換を踏まえながら、年度に拘らず継続的に運営していきたいと考えています。